

プレミアム商品券の販売結果について

1 概要

本事業は、国の地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金（地域消費喚起・生活支援型）を活用して、従前から区内共通商品券を発行してきた目黒区商店街振興組合連合会が実施したものである。500円券12枚と1,000円券6枚の12,000円分を1セットとして5万セットを作成し、平成27年7月1日から12月31日までを有効期間として販売された。

なお、70歳以上の方、障害をお持ちの方、中学生までの子どもがいる世帯、初日売出し（平日）の購入が困難な方については、事前に予約を受け付け、日程と場所を定めて販売された。

2 販売経過

平成27年7月1日（水） （一般分及び事前予約分）	午前9時から区内24か所の郵便局で販売 午前10時から区内18か所の商店街事務所等で販売
平成27年7月5日（日） （事前予約分）	午前10時から午後3時まで 学芸大学商店連合会事務所で販売
平成27年7月6日（月）～ 7月24日（金）	平日の午前10時から午後3時まで 区民センター内目黒区商店街連合会事務所にて販売
平成27年7月25日（土）～ 7月26日（日）	午前10時から午後4時まで 区民センター内商工まつりにおける区商連ブースにて販売

※7月6日～7月26日は一般分として販売

3 販売実数（セット数）

販売日	一般分	事前予約分	販売計
7月1日（水）	32,512	6,352	38,864
7月5日（日）		4,027	4,027
7月6日（月）～ 7月26日（日）	7,109		7,109
総計	39,621	10,379	50,000

→78%
→86%

4 アンケートについて（裏面）

商品券販売と同時にアンケートを購入者に渡し、郵送による回収で総数954通の回答を得た。

5 本事業の効果等について

アンケートの集計結果において、商品券の入手を契機として消費喚起された割合（「商品券がきっかけの買物」とした回答の割合）が約3割であることから、6億円分の商品券販売額のうち1億8千万円程度の新たな消費が喚起されたことが推察され、一定の効果があったものと考えられる。

また、商品券の取扱い店舗や販売方法等に関して利用者から意見が寄せられていることを踏まえ、今後、全国的な実施状況の集約等を見据えながら、課題の整理等を行っていく必要がある。

以 上

アンケート結果

1. 性別	男性 28% 女性 70% 無回答 2%
2. 年代	30 歳未満 4% 30 歳台 13% 40 歳台 20% 50 歳台 20% 60 歳以上 42% 無回答 1%
3. 家族構成	独身 14% 2 人 31% 3 人 27% 4 人 20% 5 人 4% 6 人 3% 無回答 1%
4. 購入セット数	1 セット 15% 2 セット 16% 3 セット 13% 4 セット 3% 5 セット 52% 無回答 1%
5. 主に利用した店 (複数回答あり)	食品スーパー・総合スーパー 642 人、食料品店 309 人、 飲食店・食事処 230 人、日用品店 73 人、 衣料品店 68 人、理美容院 40 人、電器店 31 人、 薬局 26 人、本屋 15 人、クリーニング 12 人、 娯楽・レジャー施設等 11 人 ※以下 10 人未満 コンビニ、宝飾店、花屋、自転車店、菓子店、時計店、 靴店、精肉店、学習塾・教育施設等
6. 商品券の用途	普段の買物 69% 商品券がきっかけの買物 31%
7. 高額購入品 (1 万円以上) (複数回答あり)	電化製品 53 (エアコン、電子レンジ、スマートフォン、テレビドアホン、 冷蔵庫、送風機、洗濯機、炊飯器、照明器具等) 外食 47 (寿司、焼肉等) 食料品 34 (精肉、魚、野菜等)、メガネ 27、 洋服 25、美容院 15、 自転車 14 (電動用バッテリーや周辺器具等を含む)、 宝飾品・鞆・靴 13 ※以下 10 件未満 化粧品、時計 (クリーニングや修理を含む)、 娯楽・レジャー、寝具・カーペット、花、家具、 教養・教育、書籍等
8. 記載された主な意見等	・ 普段利用しない店舗で買物や食事をした。 ・ 今後も継続してほしい。 ・ 使える店が少ない。 ・ 土日やインターネットでの商品券販売を望む。

※ n = 954